

平成22年度

筑紫野市教育委員会
点検・評価報告書

平成24年3月

筑紫野市教育委員会

目 次

I. はじめに	2
II. 教育委員会の活動状況等	2
(1) 教育委員会の構成	2
(2) 教育委員会会議付議事項	3
(3) その他の活動状況	6
III. 事務事業の点検・評価	7
<生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備>	
1. 学校教育の充実	8
2. 青少年の健全育成	12
3. 生涯学習・社会教育の推進	16
4. スポーツ・レクリエーションの推進	30
<認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成>	
5. 人権意識の向上	33

I. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

II. 教育委員会の活動状況等

(1) 教育委員会の構成

(平成23年3月31日現在)

委員の区別	氏名	年齢	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
委員長	近本 明	76	H20. 10. 04	H24. 10. 03
委員（委員長職務代理者）	潮見 眞千子	58	H21. 12. 21	H25. 12. 20
委員	高山 百合子	53	H20. 06. 23	H24. 06. 22
委員	古賀 勇	49	H23. 03. 07	H27. 03. 06
教育長	寺崎 和憲	58	H21. 01. 01	H24. 12. 31

(2) 教育委員会会議付議事項

開催番号	開催日	付 議 事 項
平成22年 第4回	4月26日	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市体育指導員の解職について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第5回	5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市文化会館条例の全部を改正する条例の制定について ○筑紫野市文化会館の設置及び管理に関する条例施行規則の制定について ○筑紫野市運動広場等の設置及び管理に関する条例の制定について ○筑紫野市運動広場等の設置及び管理に関する条例施行規則の制定について ○筑紫野市農業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例の制定について ○筑紫野市農業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例施行規則の制定について ○筑紫野市勤労青少年ホーム条例の全部を改正する条例の制定について ○筑紫野市勤労青少年ホーム条例施行規則の全部を改正する規則の制定について ○筑紫野市立山家幼稚園の保育料等の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について ○財産(物品)の取得について ○奨学生の推薦について ○筑紫野市コミュニティ施設(二日市・山口・御笠・山家・筑紫多目的施設・筑紫南)運営協議会委員の委嘱について ○筑紫野市歴史博物館協議会委員の委嘱について ○筑紫野市文化財保護審議会委員の委嘱について ○教育長の報告について ○各課の報告について
6回	6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度一般会計補正予算(第1号)(教育費)について ○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第7回	7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成23年度使用小学校教科用図書の採択について ○筑紫野市立小学校プール開放の実施に関する規程の一部を改正する規程の制定について ○公募を行わない指定管理者の指定の手続きについて ○教育長の報告について ○各課の報告について

第8回	8月24日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）（教育予算）について ○工事請負契約の締結について ○工事請負契約の締結について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市アンビシャス広場づくり事業補助金交付要綱の制定について ○公募を行わない指定管理者の指定の手続きについて ○教育長の報告について ○各課の報告について
第9回	9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成21年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算（教育費）について ○平成21年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市文化振興審議委員の委嘱について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第10回	10月29日	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市指定史跡の指定について ○筑紫野市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市生涯学習センター利用登録団体に関する要綱の制定について ○指定管理者の候補者の決定について（文化振興課） ○指定管理者の候補者の決定について（スポーツ振興課） ○市長の権限に属する事務の委任解除について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第11回	11月26日	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について ○平成22年度筑紫野市一般会計補正予算（第3号）（教育費）について ○筑紫野市就学指導委員会委員の委嘱等について ○筑紫野市民図書館運営規則の全部を改正する規則の制定について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第12回	12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成23年4月施行筑紫野市組織機構見直し（筑紫野市部設置条例の一部を改正する条例の制定）に伴う教育委員会事務局の定数等について

		<ul style="list-style-type: none"> ○二学期制の実施について（筑紫野市立筑紫小学校） ○学期制の実施について（筑紫野市立原田小学校） ○二学期制の実施について（筑紫野市立山口小学校） ○教育長の報告について ○各課の報告について
平成23年 第1回	1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市教育委員会公告式規則の全部を改正する規則の制定について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市若年者専修学校等技能習得資金入校支度金立替金貸与要綱の制定について ○筑紫野市筑紫多目的集会施設の管理に関する条例施行規則を廃止する規則の制定について ○筑紫野市コミュニティ施設運営協議会設置要綱を廃止する要綱の制定について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第2回	2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○阿志岐山城跡国指定に係る意見具申及び関係書類の提出について ○平成23年度筑紫野市教育行政の主要施策（案）について ○平成21年度 筑紫野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について ○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市教育委員会職員の職の設置に関する規則の全部を改正する規則の制定について ○筑紫野市生涯学習センター設置及び管理に関する条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市生涯学習情報システム管理運営規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市生涯学習推進本部設置要綱の一部を改正する要綱の制定について ○筑紫野市生涯学習情報システム検討委員会設置要綱を廃止する要綱の制定について ○筑紫野市カラオケボックス等の設置等に関する指導要綱実施要領の一部を改正する要領の制定について ○教育長の報告について ○各課の報告について

第3回	3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度筑紫野市一般会計補正予算（第4号）〈教育費〉について ○平成22年度筑紫野市一般会計補正予算（第5号）について ○平成22年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）について ○平成23年度筑紫野市一般会計暫定予算〈教育費〉について ○平成23年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について ○市長の権限に属する事務の補助執行について ○筑紫野市学校給食共同調理場管理運営規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市立図書館設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ○移動図書館の運営に関する規程の制定について ○筑紫野市民図書館資料の弁償に関する規程の制定について ○筑紫野市文化会館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市立筑紫野中学校及び筑山中学校運動場使用料条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市立小学校プール開放の実施に関する規程の一部を改正する規程の制定について ○筑紫野市代替市民プール通年開放事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について ○平成23・24年度筑紫野市体育指導委員の委嘱について ○平成23年度筑紫野市立小中学校の給食費について ○教育長の報告について ○各課の報告について
-----	-------	--

以上の付議事項は全て可決・承認されました。

(3) その他の活動状況

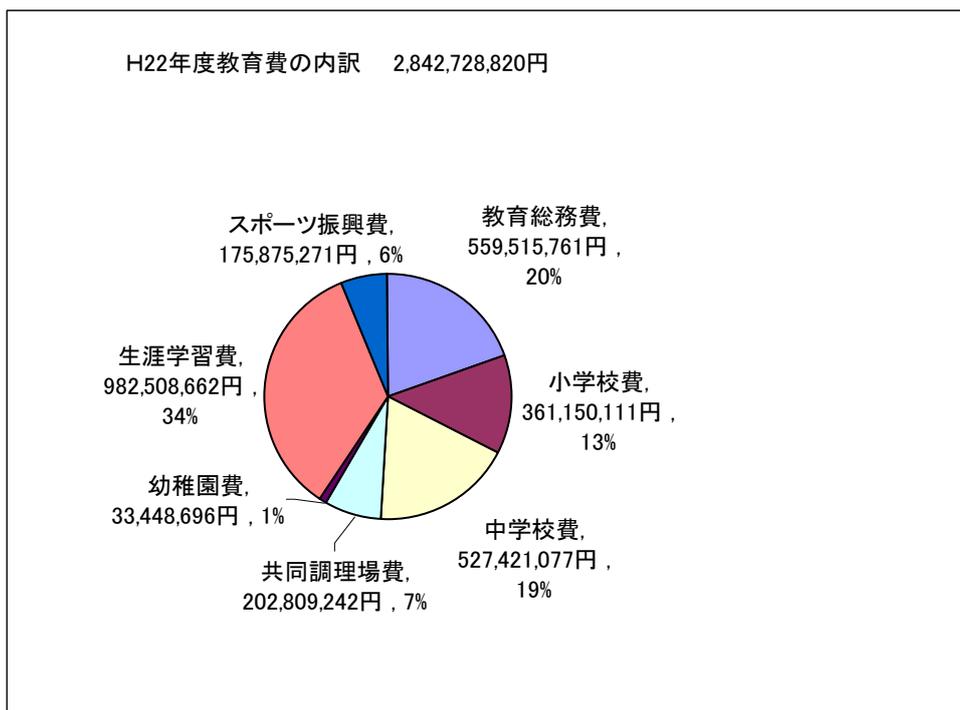
- ① 学校訪問・・・市内全小中学校を訪問
- ② 各種行事等・・・入学（園）式、卒業式、運動会、体育会、教職員赴任式等に出席
- ③ 研修等・・・九州地区教育委員研修会等に参加
- ④ その他・・・定期的学校訪問

Ⅲ. 事務事業の点検・評価

本市では、継続的に行っている事務事業について、内容の点検を行う事務事業評価制度を導入し、事務の効率化を図っています。

(1) 教育費の決算状況

平成22年度の教育費関係決算額28億4272万8,820円で、一般会計に占める教育費の割合は9.6%となっております。これは、平成21年度度の11.3%に対し1.7ポイントの減で、その要因としては、二日市東小学校屋内運動場の耐震化工事（4億5578万0738円）及び筑紫小学校の増築工事（1億8414万2700円）等の大型の工事が終了したことがあげられます。



(2) 事務事業評価

- A 成果があがっている
- B どちらかといえばあがっている
- C あがっていない

生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備

1. 学校教育の充実

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
教育環境の整備	特別支援教育推進事業	●市内小中学校に在籍する、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する。	B
		◇特別支援学級設置16校中13校に介助員を配置した。(複数配置校があるため、18人配置)	
教育環境の整備	児童生徒等通学支援事業	●児童の通学途上における安全確保を講じることにより教育環境を良好に保つ。	B
		◇天山バス…児童数27人 稼働198日 平等寺除雪…除雪回数2回 馬市タクシー…児童数2名 稼働198日 天拝小…指導日数198日 二日市東…指導日数198日	
教育環境の整備	小学校教材・図書整備事業	●学校図書館の図書及び教師用図書の整備により充実した学校教育が受けられる。	B
		◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 5,217,451円	
教育環境の整備	小学校備品整備事業	●小学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。中学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。この事業の成果指標が、パソコンソフトの購入についてのみとなっているため、備品全般の整備の状況を示すものではない。そのため、教材・図書整備事業に併合するよう調整中です。	B
		◇各学校の特色に応じたコンピュータソフトを購入、授業等への活用を推進した。 事業費 417,648円	
教育環境の整備	中学校教材・図書整備事業	●学校図書館の図書及び教師用図書の整備により充実した学校教育が受けられる。	B
		◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 3,060,312円	
教育環境の整備	中学校備品整備事業	●中学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。この事業の成果指標が、パソコンソフトの購入についてのみとなっているため、備品全般の整備の状況を示すものではない。そのため、教材・図書整備事業に併合するよう調整中です。	B
		◇各学校の特色に応じたコンピュータソフトを購入、授業等への活用を推進した。 事業費 147,915円	
教育環境の整備	私立幼稚園育成助成金	●公立幼稚園が1園しかなく、それを補完する私立幼稚園の振興	

		◇市内私立幼稚園7園に助成 均等割及び園児数割	B
教育環境の整備	二日市小学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 平成22年度中に運動場側にプレハブ校舎を建設・引越しを終えた後、平成23年度に屋内運動場・校舎（九電側）を解体・改築に取りかかっている。完成は平成24年5月。	A
教育環境の整備	二日市中学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 ◇平成22年9月から新校舎改築工事に着工完成は平成23年8月、その後既存校舎の改修工事、プール建築、グラウンド工事等を予定している。	A
教育環境の整備	筑紫野中学校エレベーター設置事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 ◇肢体不自由児学級に在籍する生徒が円滑に学校施設を利用できるようエレベーター設置工事を行う。	A
教職員の資質の向上	情報教育推進事業	●情報教育の活性化及び各教科においてコンピュータを有効に利用するために、コンピュータ機器を万全な状態にしておくことで、問題なく授業を行う。 ◇平成21年度から本年度にかけ、学校ICT環境整備事業を活用し、小学校10校、中学校5校のコンピュータ教室の機器の更新、及び教員用パソコン約300台の整備を行った。	A
教職員の資質の向上	小中学校教育研究指定校補助金	●児童生徒への授業の力量を高める実践的研究を行い、指定校において公開授業等の研究成果を広く公開していく。 ◇究指定校 1年目（阿志岐小、山口小、筑紫野南中） 2年目（二日市小、筑紫東小、二日市中） 3年目（山家小、原田小、天拝中） ※研究発表会：阿志岐小（102名） 山口小（110名） 筑紫野南中（248名）	A
確かな学力の育成	外国語教育推進事業	●日本語的英語ではなく、現地の英語や文化習慣に触れる時間を多くして、身近に触れさせている。 ◇ALT4名(内訳：市単費4名) 年間派遣時数：中学校1192時間 小学校662時間	B
確かな学力の育成	少人数指導推進事業	●学級や学校全体の人数を分割し、子ども一人ひとりに目が行き届くようきめ細かな指導を行い、学力の向上を図る。 ◇市費非常勤講師を1～2年生を対象に少人数指導を1052時間実施。	B
豊かな心の育成	児童生徒等心の支援事業	●指導員3名を配置し、心理的や情緒的に登校できない児童生徒への適応指導、また児童生徒や保護者のカウンセリング等で学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立を目指す。 ◇市内の小中学校において、不登校となった数98名(小：18、中：	B

		<p>80) で、内いじめが原因となった数は6件(全て中学校) 適応指導教室</p> <p>23年3月末現在11名の児童生徒が在籍</p> <p>小学生 3名 中1年 2名 中2年 5名 中3年 1名 ※復帰者6名 ※3年生(6名:高校等進学)</p> <p>22年度中は、168件の見学・相談あり、途中入級者9名であった</p>	
豊かな心の育成	スクールカウンセラー事業	<p>●適応指導教室(つくし学級)や中学校に配置している心の教室相談員との連携を通じた支援、療育相談等の就学指導等に関わる関係機関との連絡調整など、教育全般に関わる相談事業のコーディネートをを行う。</p> <p>◇市費雇用で中学校に配置している心の教室相談員や、つくし学級に大学より派遣されているヤングアドバイザー(11名、年間389回、児童・生徒の心の開放をねらいとする関わりをしている)へのアドバイザー的な関わりをしている。更に療育相談や子育て支援等の健康・福祉分野との連絡調整を図りつつ、教育相談コーディネーターの任務も果たしている。</p>	A
豊かな心の育成	心の教室相談事業	<p>●中学校に「心の相談員」を5名配置し学校における生徒の悩み等の相談を行い、ストレスを和らげて心にゆとりがもてることを目的としている。</p> <p>◇生徒の悩みを受け止め、ストレスを和らげることを中心的業務としつつも、学校現場の事情によって、教室に入れない等の生徒の相手をする場合もある。1日4時間、週16時間を基本にしつつ、8月は休みとして取り扱っている。相談を受けた件数は、二日市中(1070)、筑山中(475)、筑紫野中(1889)、天拝中(430)、筑紫野南中(644)となっている。</p>	B
豊かな心の育成	中学校文化・体育奨励援助費補助金	<p>●学校体育・スポーツ・文化活動を通じて、規範意識の向上や道徳性を身に付けることができる。</p> <p>◇(文化)</p> <p>5校: 727,140円</p> <p>(体育)</p> <p>筑前大会: 572,740円 県大会: 739,480円 九州大会: 688,850円 全国大会: 950,000円</p> <p>新人戦 筑前大会: 411,760円 県大会: 241,820円</p>	B
豊かな心の育成	問題を抱える子ども等の自立支援事業	<p>●不登校、暴力行為、いじめ、児童虐待、高校中退への対応といった、学校が抱える課題について未然防止、早期発見・早期対応につなげる。</p> <p>◇【平成22年度目標:暴力行為と授業抜け出しの未然防止】</p>	B

		○活動内容 ・校内体制の確立と職員での共通理解 ・指導員等関係者との共通理解 ・事務局による活動内容の分析・評価 ・関係機関との推進会議 ・性格、自己充実感についての生徒指導 検査（年1回）	
健やかな体の育成	学校保健管理事業	●健康診断を行うことで、児童・生徒及び職員の健康の保持増進を図る。 ◇校保健安全法による事業 一般健康診断（146名） 胃検診（138名） 尿検査（1次：9010名、2次483名） ぎょう虫検査（6146名） 心臓（1次：1,986名、2次：82名） 結核（1次：365名、2次：7名） 学校検診（9017名） 就学前検診（985名）	B
健やかな体の育成	共同調理場給食運営事業	●学校給食は、児童生徒に栄養のバランスがとれた食事を提供することにより、すべての児童生徒の健康増進と体位の向上を図っている。 ◇市内の小中学校の児童生徒及び教師等に年間188日（約9、600食/日）の給食を共同調理場方式で実施した。平成22年度は、小学校5校が2学期制をとっている。3学期制の学校よりも3日早く給食開始。	B
健やかな体の育成	給食会助成金	●市学校給食会に助成金を交付することで、給食会の運営が円滑に行われる。 ◇22年度は、調理員衛生講習会や市料理コンクールの実施。県の料理コンクール出場や栄養士の研究大会への参加。食育推進に関する事業として、親子料理教室の開催、食育だより、給食便りの発行、給食時間の小学3年生を対象にした学校訪問及び食に関する指導及び会食を行なった。	B
就園、就学の支援	専修学校等技能習得資金貸与事業	●就労に必要な技能及び知識の習得を図り、社会において有為な人材の育成を図る。 ◇貸与者が1名いたが、8月から休学したため、4～7月までの貸与のみ行った。	B
就園、就学の支援	学校就学援助・奨励事業	●経済的な理由によって就学困難な児童生徒への義務教育の就学を円滑に行う。 ◇援助児童生徒数実績 要保護：32人 準要保護：1370人 合計：1402人 特別支援就学奨励実績	A

		小学校 : 41人 中学校 : 22人 合計 : 63人	
就園、就学の支援	遠距離通学補助事業	●遠隔地にある学校への通学支援を行うことで幼児教育、義務教育を受ける環境を整えることができる。 ◇遠距離通学対象者児童生徒数 25人	B
就園、就学の支援	幼稚園就園奨励等事業	●公立・私立幼稚園に在園している3・4・5歳児に幼稚園教育の振興を図るため、幼稚園保育料等の補助を行う。 ◇公立 5人(減免) 私立 1130人	B
就園、就学の支援	奨学資金貸付事業	●経済的理由によって進学又は修学が困難な生徒に対し学資を貸与し、有用な人材の育成を図る。 ◇新規貸与者として、高校3名・大学2名を採用した。 高校6名、大学4名に対し継続して貸与を行った。	B
施策の総合推進	学校教育研究会補助金	●教育研究会等にそれぞれの教職員が参加することで、当該専門的知識の習得や幅広い知識の習得を目指し、学校運営の円滑を推進している。 ◇講演、実践発表を実施。 ・市教育研究会研修5回 ・筑紫地区教育懇談会研修2回 ・宰城会・市研究会合同研修会1回	B

2. 青少年の健全育成

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	地域子ども会活動費補助金	●単位子ども会の活性化を図る。 子ども達の体験活動を充実させるとともに、親の教育力を高め学習機会を充実させる。 ◇ 単位子ども会支援策として補助金総額2489千円を交付した。交付 単位子ども会数60団体	A
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	子どもセンター事業	●子ども向けの情報誌を作成し配布することにより子どもたちの体験活動の推進を図る。 ◇子ども情報誌「キッズ・ウインドー」の発行 7月、9月、12月、3月 各10,000部発行 配布先： 市内各小・中学校 9,400部 市内公共施設、各郵便局、農協等 600部	A
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	生涯学習フェスティバル青少年部会事業	● 青少年関係団体の活動状況等の紹介をすることで、より多くの青少年が青少年プラザを容易に利用できるようになる。 ◇ ・青少年関係団体の活動状況等の紹介 ・青少年プラザを利用した遊びの体験 ・青少年に関する情報のアピール ・期日：平成22年10月30日・31日	A

		<ul style="list-style-type: none"> ・お化けの部屋&射的&くじ ・青少年事業の紹介展示コーナー 	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	ロックフェスティバル事業（ちくちくMerryフェスティバル）	<p>●生涯学習センター利用の青少年の組織化を図り、相互の連帯感を高め、利用マナーの向上を目指す。また、青少年の主体性・自主性を育成し、発表の場を提供することにより青少年の達成感を味わわせる。</p> <p>◇生涯学習センター利用の青少年の組織化を図り、相互の連帯感を高め、センター利用マナーの向上を目的にロックフェスティバルを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：平成22年8月22日（日） ・内容：バンド 7グループ ダンス 1グループ ：ポスター展示（ロビー） 市内2高等学校からの作品を展示 <p>※ 参加グループによる自主的な企画会議、当日の運営が定着した。</p>	B
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	竜岩自然の家主催講座事業	<p>●施設を取り巻く豊かな自然環境や学習資源を生かしながら、多彩な学習プログラムの提供を図り、利用者の自然体験活動等の体験者を増やす。</p> <p>◇市民の自然体験活動等の推進を図るための主催事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ指導者養成講座 参加者 16人 ・フリークライミング教室 参加者 726人 ・ファミリーキャンプ 参加者 81人 ・ドラゴンロック 参加者 470人 	A
青少年の居場所づくり	青少年育成事業（BGレンジャー）補助金	<p>●様々な体験活動や行事等を通じて心豊かな青少年の育成とまちづくりの推進を図る。</p> <p>◇心豊かな青少年の育成とまちづくりを推進するための事業支援策として、1事業に補助金総額100千円、（継続）270千円、総額370千円を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続分： 5件 270千円 ・新規分： 1件 100千円 	B
青少年の居場所づくり	子どもフェスティバル事業補助金	<p>●子どもたちが、友達と協力しあって地域でいきいきと遊ぶことができている。</p> <p>◇子どもフェスティバルちくしの&第20回子ども市を実行委員会形式で実施</p> <p>期日：平成22年4月29日</p> <p>会場：カミーリヤ</p> <p>内容：子ども市、昔遊びコーナー、ちびっこ遊びコーナー、人形劇、おもちゃ病院 等</p>	A
青少年の居場所づくり	青少年プラザ事業	<p>●青少年プラザを青少年の交流の場として開放し、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場として、また、情報提供や体験学習の場として提供することにより、青少年がいつでも気軽に集まることができる。</p> <p>◇少年の交流の場、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場、また、情報提供や体験学習の場として提供した。</p>	B

		<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナー ・作品展示 ・様々な企画の実施 	
青少年の居場所づくり	夏休み学校外活動事業	<p>地域の方との交流を通じて子どもたちに「世代間交流」や「同世代と一緒に、外で体を動かして遊ぶ楽しさ」を体験させることにより、子どもたちが地域の中での遊びを通じて生きる力を身につけ、また、地域全体で子どもを見守っていく環境を育てる。</p> <p>◇ステキな夏休み教室」を俗明院公民館で実施（二日市東小学校区対象）。23年度は、二日市小学校区で実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：俗明院公民館 期日：8月21、22、28、29の4日 参加者：7名 ボランティアスタッフ：11名 	A
青少年の居場所づくり	放課後子ども教室事業	<p>●放課後や週末に小学校の余裕教室等を使用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりを図る。</p> <p>◇平成19年度から開始する事業。いずれも週2回で実施中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天拝っ子アンビシャス広場（天拝小学校区） ・若葉・中原アンビシャス広場（二日市東小学校区） 	A
青少年の居場所づくり	通学合宿推進事業	<p>●たくましく豊かな心を育てる（自主性、協調性）、家庭教育を見直す、地域で子どもを育む気運を高める。</p> <p>◇地域力の向上と子どもたちの成長を目的とする。</p> <p>岡田区通学合宿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加 17人 ボランティア（延べ）136人 <p>美しが丘北通学合宿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加 17人 ボランティア（延べ）157人 	A
青少年の居場所づくり	筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助金	<p>●市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された筑紫野市子ども会育成会連絡協議会を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金495千円を交付した。</p> <p>筑紫地区子ども会育成会連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会 期日：平成22年5月21日 会場：生涯学習センター 内容：平成21年度事業、決算及び監査報告 平成22年度事業計画、予算（案）等 ・研修会 期日：平成22年9月19日 会場：農業者トレーニングセンター 内容：応急処置、軽スポーツ 	A
青少年指導者	筑紫野市ジュニ	●ジュニア・リーダーの育成に取り組む団体を財政的に支援す	A

の確保、育成	ア・リーダーズ・クラブ連絡協議会補助金	る。 ◇・レクリエーション講習会 芸術・文化部門 マーチングバンド・クラブ ・体育・スポーツ部門 ソフトテニス	
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市青年団体連絡協議会補助金	●青少年育成市民会議を通して、青少年の健全育成に資する団体とする。併せて、社会貢献活動を実施する団体とする。 ◇団体支援策として補助金200千円を交付した。	B
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市青少年育成市民会議補助金	●青少年の健全育成に係る団体、機関の中心的役割を果たす活動を支援する。 ◇団体支援策として補助金200千円を交付した。 ・市民フォーラム：テーマ「インターネットにおける人権侵害」 参加者 150人 5中学校、3高校の代表によるパネルディスカッション ・青少年の健全育成に係る情報交換	A
青少年指導者の確保、育成	子ども会リーダーズスクール	●子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。 ◇新リーダーズスクール、春スクール（ニュージェネレーションスクール）、秋スクール（子ども会あそび広場）の実施 ・新リーダーズスクール（2月） 参加者184人 育成会75人 ・春スクール（ニュージェネレーションスクール）（6月） 参加者161人 ・秋スクール（子ども会あそび広場）（10月） 参加者82人	A
青少年指導者の確保、育成	子ども会育成会指導者研修会事業	●子ども会活動を支援する育成会の役割とその支援のあり方を学ぶことにより子ども会育成会が円滑に運営される。 ◇・市主催指導者研修会 参加者 172人 ・福岡ブロック子ども会育成会指導者研修会 ・筑紫地区少年団体等指導者研修会 ・九州地区子ども会育成研究会各種研修会の実施、参加	A
青少年指導者の確保、育成	青少年指導員事業	●青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るため筑紫野市青少年指導員を置く。 指導員数 50人 ◇ 青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るための活動を行った。 小学校区別巡回・筑紫地区一斉パトロール ・役員会における情報交換 ・校区別主催事業：筑紫小フットベースボール大会、山家小一泊研修 ・研修会：教育講演 「思春期の心のサインを見逃さないで！」	A

環境浄化活動の推進	筑紫野市青少年指導員会補助金	●青少年指導員の自主的活動を支援する。	A
		◇団体支援策として補助金90千円を交付した。 ・小学校区別巡回・筑紫地区一斉パトロール ・役員会における情報交換 ・校区别主催事業：筑紫小フットベースボール大会、山家小一泊研修 ・研修会：教育講演 「思春期の心のサインを見逃さないで！」	
環境浄化活動の推進	少年補導員会事業	●他市町の補導員会と連携協力し、必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。	A
		◇青少年の健全育成、非行防止のための事業を実施 ・毎月開催の定例会において情報交換 ・校区内危険箇所の巡回（実施回数 24回） ・視察・研修：中津少年院（9/30～10/1）	
悩み相談、思春期教育の充実	ヤングテレホン相談事業	●青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行うことにより、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的とする。	B
		◇青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行った。（件数 498回） PRカード配布 小中学生（4月） 就学時健診（11月）	
施策の総合推進	成人式事業	●成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。	A
		◇「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ことを目的に式典を実施（実行委員会により） ・期日：平成23年1月10日 実施 ・会場：筑紫野市文化会館 ・参加者：837人(出席率 71%) ・記念品：印鑑ホルダー ・対象者：1,180人 ・内容：記念式典、恩師メッセージ、抽選会	
施策の総合推進	おやじ講座推進事業	●青少年の健全育成が社会的に求められている今日、父親の子育てへのかかわりが課題となっている。そのため、父親及び子育てに関わる男性の学習機会等を提供する。	B
		◇1件申請 筑紫東小学校おやじの会 「ファーマーズ」	

3. 生涯学習・社会教育の推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習ニーズに応じた学習機	小地区公民館講座推進事業	●小地区公民館における主催講座の開催を促し、学習支援の推進を図ることにより、市民ニーズに応じた学習機会が提供され	

<p>会の充実</p>		<p>る。</p> <p>◇地域の活性化やまちづくりにつながる学習が行われた。</p> <p>講座内容</p> <p>教育： 4講座（陶芸・寄せ植え・お菓子作り）</p> <p>教養： 7講座（フラダンス・布ぞうり作り・手芸・三線）</p> <p>文化： 5講座（門松作り・ほうげんぎょう・歴史散策）</p> <p>実用： 7講座（パソコン・クッキング・蕎麦打ち）</p> <p>合計： 23講座</p> <p>※小地区公民館では、教育・実用・趣味等多岐にわたり、いろんな学習が行われている。地域の活性化、まちづくりにつながる学習効果は高いと思われる。</p>	<p>A</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>学びをつなぐ講座</p>	<p>●人権尊重の明るいまちづくりのため、学習を通し人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇人権啓発、人権学習のための講座を行った。</p> <p>講座内容</p> <p>開講式講座「学びの意味・意義」</p> <p>5月20日 14人</p> <p>館外学習 鹿本隣保館</p> <p>「満州来民開拓団についての学習」</p> <p>8月24日 19人</p> <p>講座 「克服すべき考え方」</p> <p>6月17日 17人</p> <p>「『部落』とは何か」</p> <p>7月15日 19人</p> <p>「中世のけがれ思想とキヨメル所業Ⅰ」</p> <p>9月15日 14人</p> <p>「中世のけがれ思想とキヨメル所業Ⅱ」</p> <p>10月20日 17人</p> <p>閉講式講座「人権学習で大切なことは？」</p> <p>11月17日 17人</p>	<p>A</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>ちくしの高年大学</p>	<p>●高齢者が豊かな経験を生かして社会参加を実践するための学習ができるとともに、受講生相互の親睦が深まっている。</p> <p>◇受受講生数114名</p> <p>1. 教養講座 8回</p> <p>①生き方1回 題目：一期一会から一会一生</p> <p>②福祉1回 題目：京都伏見から柏手塾</p> <p>③伝統文化1回 題目：京都伏見から柏手塾</p> <p>④生活1回 題目：福岡県の災害の可能性と対策及び対応</p> <p>⑤文化1回 題目：伝承の歴史と可能性</p> <p>⑥人権1回 題目：ともに生き、ともに暮らし、ともに創る社会</p> <p>⑦学習実践発表会1回</p> <p>⑧開講式1回・閉講式1回</p>	<p>A</p>

		<p>2. 専門講座 13 回</p> <p>①郷土史 25人 ②太極拳 25人 ③合唱 21人 ④絵画 19人 ⑤紙版画 10人 ⑥健康レクササイズ 14人</p> <p>3. クラブ活動 8 回 社会参加のための技術実習</p> <p>4. 世代間交流事業 夏休み期間中の小学生を対象とした「夏休み工作教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月28日：筑紫地区（筑紫多目的集会施設）71人 ・ 7月29日：山口地区（山口コミセン）56人 ・ 7月30日：二日市地区（二日市コミセン）54人 ・ 8月 2日：筑紫南地区（筑紫南コミセン）87人 ・ 8月 3日：御笠地区（御笠コミセン）40人 ・ 8月 4日：山家地区（山家コミセン）42人 <p>②春休み期間中の小学生を対象とした「春休み工作教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月 筑紫東小学校学童保育所 54人 <p>5. 学習成果発表 生涯学習フェスティバルでの学習発表、学習実践発表会、作品展及び子どもたちの体験学習支援活動</p> <p>6. 社会参加活動 研究課程としてゼミ講座「チェンジイせんばあ倶楽部」による歴史散策活動、家庭菜園支援活動及び高齢者支援活動</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	視聴覚教育・視聴覚ライブラリー事業	<p>●生涯学習センターの視聴覚機材・教材を活用してもらうことにより、市民のニーズに応じた学習ができるようにする。</p> <p>◇教材一覧を各機関等へ知らせることにより貸し出しが拡大、HPにVT教材等の一覧を掲載し、教材の検索ができるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライド映写 6回 ・野外放送機器 25回 ・スクリーン 20回 ・パネル 19回 ・ビデオプロジェクター館外貸出し 26回 ・ビデオテープ館内、館外貸出し本数 967本 	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	いきいき人権ライフセミナー	<p>●身近にある差別や人権問題をテーマとした学習の機会を提供し、人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇子どもに焦点を当て、様々な角度から人権問題を学習した。 学習内容（4回）</p> <p>①7月13日（火） 参加：22人 題目 子どもたちのSOS！～電話相談の現状から子どもたちの居場所を探る～ 講師：山口祐二（筑紫女学園大学非常勤講師）参加：22人</p> <p>②7月27日（火） 参加：12人</p>	B

		<p>題目 今、子どもたちに必要なことは・・・～筑紫野市子ども条例制定の背景を探る～</p> <p>講師：武本久美子(元筑紫野市子ども条例市民委員会) ：原田忠典(筑紫野市子育て支援課)</p> <p>③8月10日(火) 参加：13人</p> <p>題目 子どもたちの生活体験を豊かに！～通学合宿の取り組み事例を通して～</p> <p>講師：畠添克美(元武蔵通学合宿実行委員会委員長)</p> <p>④8月27日(金) 参加：8人</p> <p>題目 考えよう！子どもの権利(まとめ)～前3回の講義を踏まえながら、みんなで考えます～</p> <p>講師：白水昭道(筑紫野市教務課人権教育地域活動指導員)</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	まちをみつめよう学級	<p>●身近な生活課題を学習し「まちの政治」を正しく理解し、明るい選挙の推進を図るとともに、地域のリーダーを育成する。</p> <p>◇選挙や防犯防災、街づくりのための学習を行った。</p> <p>学習内容</p> <p>選挙管理委員会事務局との共催事業</p> <p>受講生：28人</p> <p>①講義等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「選挙制度・期日前投票立会人のあり方について」 日時：6月16日 参加27人 ・「衆議院通常選挙を終えて」 日時：7月21日 参加26人 ・「応急手当・AED使用講習」 日時：9月15日 参加24人 ・「筑紫野市の防犯・交通の現状と対策」 日時：10月20日 参加26人 「市の災害(水害・地震等対策)について」 日時：12月15日 参加23人 ・「わたしたちのまちづくり」(県出前講座) 日時：1月19日 参加26人 ・「地域包括支援センターの取り組み」 日時：2月16日 参加23人 <p>②館外学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「TOTO歴史資料館施設見学他」 日時：8月18日 参加20人 ・「常松浄水場見学他」 日時：11月17日 参加19人 ・開級式・閉級式・筑紫地区研修会 参加65人 	B
学習ニーズに	コミュニティ主	●地域の豊かな学習資源を生かした学習機会の提供をはかり、	A

応じた学習機会 の充実	催事業	学習の成果を活かして、地域やコミュニティ施設における生涯学習活動や地域活動に参画する。																																																														
		<p>◇郷土の歴史や健康、料理など地域や生活に密着した講座を行なった。</p> <p>講座内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二日市コミセン</td> <td>6講座</td> <td>186人</td> <td>1,057人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">講座名 源氏物語、手話教室、健康教室など</td> </tr> <tr> <td>山口コミセン</td> <td>6講座</td> <td>98人</td> <td>542人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">講座名 初心者の為の畑作り、山口文化塾など</td> </tr> <tr> <td>御笠コミセン</td> <td>11講座</td> <td>484人</td> <td>1,555人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1事業</td> <td>105人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">講座名 親父の手習い、おいしい野菜作りなど</td> </tr> <tr> <td>山家コミセン</td> <td>10講座</td> <td>1,232人</td> <td>2,370人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">講座名 街道探索、地産地消の料理教室など</td> </tr> <tr> <td>筑紫多目的集会</td> <td>9講座</td> <td>321人</td> <td>1,246人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">講座名 パソコン講座、筑紫の郷土史講座など</td> </tr> <tr> <td>筑紫南コミセン</td> <td>10講座</td> <td>403人</td> <td>2,093人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">講座名 朗読講座、親子でエンジョイなど</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>53講座</td> <td>2,724人</td> <td>8,863人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1事業</td> <td>105人</td> <td>105人</td> </tr> </tbody> </table>		施設名	講座数	参加者数	延人数	二日市コミセン	6講座	186人	1,057人	講座名 源氏物語、手話教室、健康教室など				山口コミセン	6講座	98人	542人	講座名 初心者の為の畑作り、山口文化塾など				御笠コミセン	11講座	484人	1,555人		1事業	105人	105人	講座名 親父の手習い、おいしい野菜作りなど				山家コミセン	10講座	1,232人	2,370人	講座名 街道探索、地産地消の料理教室など				筑紫多目的集会	9講座	321人	1,246人	講座名 パソコン講座、筑紫の郷土史講座など				筑紫南コミセン	10講座	403人	2,093人	講座名 朗読講座、親子でエンジョイなど				合 計	53講座	2,724人	8,863人	
施設名	講座数	参加者数	延人数																																																													
二日市コミセン	6講座	186人	1,057人																																																													
講座名 源氏物語、手話教室、健康教室など																																																																
山口コミセン	6講座	98人	542人																																																													
講座名 初心者の為の畑作り、山口文化塾など																																																																
御笠コミセン	11講座	484人	1,555人																																																													
	1事業	105人	105人																																																													
講座名 親父の手習い、おいしい野菜作りなど																																																																
山家コミセン	10講座	1,232人	2,370人																																																													
講座名 街道探索、地産地消の料理教室など																																																																
筑紫多目的集会	9講座	321人	1,246人																																																													
講座名 パソコン講座、筑紫の郷土史講座など																																																																
筑紫南コミセン	10講座	403人	2,093人																																																													
講座名 朗読講座、親子でエンジョイなど																																																																
合 計	53講座	2,724人	8,863人																																																													
	1事業	105人	105人																																																													
学習ニーズに 応じた学習機会 の充実	ちくしの文化講座	●市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動が行われている。	A																																																													
		<p>◇市民の様々なニーズに応じた学習を提供した。</p> <p>講座内容</p> <p>①趣味教養講座 899人(定員1,200人)延4,394人</p> <p>・定期講座 : 34講座</p> <p>・1日体験講座 : 6講座</p> <p>(ジュニア講座・音楽講座・暮らし実用講座・手芸工芸講座・外国語講座・文学講座・歴史講座など)</p> <p>②料理講座27講座</p> <p>304人(定員548人)延304人</p> <p>③パソコン講座35講座</p> <p>437人(定員700人)延1,345人</p> <p>④サテライト事業2回</p> <p>シヨパン&シューマン生誕200周年ピアノコンサートなど</p> <p>参加106人(定員120人) 場所:カメロホールなど</p>																																																														
学習ニーズに 応じた学習機会 の充実	ちくしの文化塾	●時事問題、政治経済、教育等幅広く話題を提供し、市民の学習活動が行われている。	B																																																													
		<p>◇人々の文化・教養の高揚を図ることを目的とする文化講演会</p> <p>①11/20(土)</p> <p>・来場者:181人</p> <p>・講師:与良正男</p>																																																														

		<p>※毎日新聞社論説副委員長 テーマ『日本の政治はどこに向かうのか』</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	生活学校連絡会（補助金）	<p>●生活学校相互の連絡をはじめ生活学校運営の情報交換を行い消費生活の向上を図る。</p> <p>◇各生活学校の運営や活動を協議し消費生活の向上に取り組む運動を今後も継続していく。 環境・教育・福祉・くらし等の諸問題についての取組みを行っていく。</p> <p>①筑婦生活学校の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題の学習 ・廃油を利用しての石鹼作り ・天拝山ロードレースの支援 ・食の安全性についての学習 ・植樹活動への参加 <p>※みかさ生活学校については、22年度から廃校</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	女性大学講座（補助金）	<p>●趣味的なものから学術的なものまで多面にわたる講座を開催することにより女性の地位向上を図る。</p> <p>◇女性の地位向上に向け、様々な講座が実施された。</p> <p>講座内容</p> <p>01 毎週火曜日 ゴルフ・洋裁教室 02 毎週水曜日 洋裁・リフォーム教室 03 毎週金曜日 歌謡教室1、2 04 第1・2・3月曜日 社交ダンス・ハワイアン フラダンス・実用書道1、2 卓球教室1、2 05 第1・2・3火曜日 日舞教室 06 第1・2・3水曜日 民謡・三味線・カラオケ・太極拳・卓球教室 07 第1・2・3木曜日 太極拳・健康教室・謡曲教室 詩吟教室・エアロビクス(22年度開講) 08 第1・2・3金曜日 日舞教室 09 第1・3火曜日 生花教室 10 第1・3木曜日 生花教室・華道教室 11 第1・3金曜日 かな書道 12 第2・4月曜日 パッチワーク教室 13 第2・4火曜日 コーラス 14 第2・4水曜日 トールペイント 15 第2・4木曜日 夜間ペン・かな書道 16 第2・4金曜日 ペン習字1、2・茶道・洋画・水墨画・手編 17 第2・4土曜日 書道 18 第2水曜日 クッキング 19 第4木曜日 男性料理教室</p>	A
学習ニーズに応じた学習機	生涯学習センター自主学習グル	●自主学習グループの成果を持ち寄り、市民に公開・交流を行う。	A

<p>会の充実</p>	<p>ープ連絡会補助事業</p>	<p>◇活動内容</p> <p>①自主学習グループまつり（生涯学習フェスティバルに参画）実行委員会を結成し5回開催（反省会を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ発表 34グループ ・作品展示 12グループ ・バザー出展 4グループ ・グループ紹介 <p>②館外学習(95人)山鹿市 5/31</p> <p>③館内学習(31人)消費生活問題研修 2/18</p> <p>④総会1回 ・四役会 9回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会 11回 ・代表者会 9回 	
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>筑紫南コミュニティセンター図書室運営</p>	<p>●図書室の事業を活用し、学習活動や地域住民の交流により地域づくりが展開される。</p> <p>◇市民協働事業として、平成20年度から「はらっぱの会」に委託し、図書室の運営や地域づくり・人づくりのための事業を行った。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室の開館日数 248日 ・図書室利用者数 16,013人 ・図書貸し出し冊数 21,942冊 ・図書室主催講座 33回 <p>講座内容：布で作る絵本とおもちゃ作り教室など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り紙教室 48回 ・すこやか広場（育児相談） 2回 ・講演会 3回 <p>講座内容：徳永玲子さんと絵本を楽しもう！4/25 参加170人 ：お父さんと絵本を楽しもう！ 9/12 参加 98人 ：前園敦子さんと絵本を楽しもう！2/27 参加 78人</p>	<p>A</p>
<p>家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実</p>	<p>生涯学習ボランティア事業</p>	<p>●市民がボランティアバンク事業を活用し、地域づくりや学習活動が展開されている。</p> <p>◇市民協働事業として、平成18年度から「筑紫野市ボランティアバンクの会」に委託し、様々な活動を行った。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの登録、派遣事業（学習相談・コーディネート） ・ボランティアバンク情報の提供、発信（HP・広報誌の発行など） ・ボランティア活動の支援 ・地域活性化事業「このゆびとまれ」 場所 市内各コミセン ・ボランティア研修会・学習会 年3回 <p>①7月24日 参加27人</p> <p>②9月25日 参加29人</p> <p>③1月28日 参加61人</p>	<p>A</p>

		<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者 1,534人 <li style="padding-left: 20px;">個人 1,038人 <li style="padding-left: 20px;">団体 39グループ(496人) ・ボランティア派遣件数 318件 ・ボランティア派遣人数 延5,267人 ・市民利用者数 延111,568人 	
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	生涯学習フェスティバル	<p>●学習グループが日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。</p> <p>◇様々な機関団体や学習グループが集い、連携しながら、学習成果の発表の場、交流の場として、作品展示、ステージ発表、バザーなどを行った。また、人権、男女共同参画など行政啓発活動も行った。</p> <p>☆日 時 平成22年10月30～31日</p> <p>☆参加人数 約6,000人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体(人数) 190団体 2,000人 ・観覧者数 2日延べ 6,000人 <p>①実行委員会 2回</p> <p>②パープルプラザ部会の企画会議 1回</p> <p>③パープルプラザ部会 3回(反省会含む)</p> <p>④事務局(所管課長)会議 1回</p> <p>⑤事務局(担当者)会議 2回</p> <p>⑥各担当会議 18回</p>	B
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	市民大学講座	<p>●市民の学習機会とニーズに応え生涯学習の推進に努めることにより、家庭や地域の教育力が高まる。</p> <p>◇学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 6月7日 参加90人 テーマ：国が変わる。地域が動く 新しい日本の姿 講師：藪野祐三(九州大学名誉教授) ・第2回 7月5日 参加83人 テーマ：人権 いろいろ話(近頃思うこと) 講師：林 力(九州大学非常勤講師) ・第3回 8月2日 参加37人 テーマ：憲法 この一年 講師：横田耕一(九州大学名誉教授) ・第4回 9月6日 参加80人 テーマ：古典への回想～源氏物語に学ぶ日本人の心～ 講師：飯田栄彦(作家) ・第5回 10月4日 参加77人 テーマ：「先人の生き方(志・知恵)に学ぶ」 ～インドのグリーンファーザー(緑の父) 杉山龍丸～ 講師：高嶋正武(山家史跡等を守る会) 	A

		<p>・第6回 11月8日 参加63人 テーマ：夢松原物語～新たな公～ 講師：川口道子（はかた夢松原会長）</p> <p>・第7回 12月6日 参加75人 テーマ：新聞から見るアジア・世界 講師：宮原拓也（西日本新聞社編集センター部長）</p> <p>・第8回 3月7日 参加62人 テーマ：故郷を思う文学 講師：狩野啓子（久留米大学教授）</p>	
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	家庭教育学級	<p>●『子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親となる』ことを目的とする。家庭教育学級間の情報交流を行い、合同企画事業を実施することにより、各家庭教育学級における活発な学習活動により家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>◇より良い子育てを求めながら、親としても教育力を高めるための学習を行った。</p> <p>学習内容</p> <p>学級数 17学級（小中学校16、夜の学級1） 学級生数 477人</p> <p>合同開講式</p> <p>日時：5月27日(木)10:00～ 参加者：209人 講演：なかよしな人間関係 ～大人と子ども・夫婦・地域のなかよしを考える～ 講師：長阿弥幹生</p> <p>・合同レクリエーション</p> <p>日時：6月18日(金)9:30～ 参加者：201人</p> <p>・合同研修会</p> <p>日時：11月18日(木)10:00～ 参加者：356人</p> <p>1、全体会講演：「お母さんはスゴイ！百万母力のつながり～」 講師：藤本裕子</p> <p>2、分科会</p> <p>①「音楽は心の情操教育」 講師：広沢薫 佐伯洋子</p> <p>②「食べることは生きること」 講師：鬼塚ユキ子</p> <p>③「届けていますか？大人の思い、気づいていますか？子どもからのSOS」 講師：成清一枝</p> <p>・各学級での学習活動 6回～9回 ・文集「あゆみ」作成</p>	B
家庭・地域のコミュニティ力を高める教育	いきいき元気人養成講座事業	<p>●地域コミュニティ主導のいきいきと輝く街づくりを実践する人材の育成や資質の向上を図る。</p> <p>◇リーダー課程の受講資格取得やサポーターの資格を得るための活</p>	

育活動の充実		<p>動を行なった。</p> <p>活動内容</p> <p>(1)受講生数 街づくりサポーター課程者 7人 街づくりサポーター更新課程者 8人</p> <p>(2)学習会 14日間</p> <p>①講義 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの実践例に学ぶ(1回) ・筑紫野市のまちづくりを知ろう(1回) ・プログラム作成の基礎知識(1回) ・まとめ(1回) <p>②演習 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラム作成(4回) <p>③実習 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキングの手法を学ぶ(1回) ・プログラム実習・実践(2回) <p>④先進地視察 1回 場所：熊本県鹿本郡植木町 「ばあちゃんち」7人</p> <p>⑤講演 1回 内容：市民が輝くまちづくり 参加15人</p> <p>(3)社会参加活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習フェスティバルで学習成果発表 <p>※講座運営を前年度受講生に委ねる。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	ちくしの子ども劇場補助金	<p>●地域の中で子どもたちがいきいきとした「子ども時代」を過ごすための環境づくりを目指す。また、子どもたちに芸術に親しむ心と感受性を育てるとともに、芸術文化活動への参加意欲を喚起する。</p> <p>◇子どもの諸活動に関する事業(子どもキャンプ等)、子どものための優れた舞台芸術関連事業(10作品)、子どもの表現活動(ドラマスクール等)、子育て支援関連事業(子育て講演会)などを通して子ども達が生き生きと活動できる環境を提供することができた。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	文化団体連合会補助事業	<p>●連合会への加盟団体が増加し、市民の芸術文化事業が盛んになること。連合会の事業が継続され、多様な事業がおこなわれること。安定した運営がおこなわれること。</p> <p>◇美術展、研修を実施すると共に、県文化団体連合会福岡Ⅱブロックin大野城市に参加。</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	史跡保存管理事業	<p>●文化財の保存・管理を適正に行う。</p> <p>◇遺跡等の維持・管理・保存のための対策を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山家群屋改修工事 <p>市内史跡地の草刈業務委託等を行い景観の維持に努めた。また、開発に伴う文化財の問い合わせに対応するためデータの更新を行った。</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	展示教育支援事業	<p>●地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図る。</p> <p>①市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図る。</p>	

実		<p>②市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうと伴にこれを支援する。</p> <p>③学校教育に対し、資料提供、並びに教育支援を行なう。</p>	A
		<p>◇企画展/4事業</p> <p>アート展/ソニエア学芸員連動事業(年間)</p> <p>学芸員関係/3事業</p> <p>講座等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野織りの会(第1・3金曜日) ・回想法(随時)/福祉部門連携事業 ・歴史講座(8/28・9/11) ・市民文化ゼミナール(1/22・2/19・3/19) <p>支援事業/2事業単発事業/1事業</p> <p>共同事業/6事業学芸員派遣/20件</p> <p>資料貸出/457点資料閲覧/76点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働事業・共同事業 <p>企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵寺と二日市温泉(4/17~6/20) ・立明寺地区遺跡B地点展(7/24~9/20) ・“ちくしの”の農事暦と食事―「昭和初期の旧御笠村と旧山口村の郷土料理―」 ・昔の暮らし暦―昭和の暮らしを振り返る(12/18~4/3) 	
文化財・文化芸術活動の充実	資料収集保管事業	<p>●資料を収集し、適切に保存・管理することにより、活用できる状態にする。</p>	B
		<p>◇ガス燻蒸を行なっているが、九州国立博物館と連携してIPM導入について探った。</p>	
文化財・文化芸術活動の充実	ちくしの人形劇まつり実行委員会補助金	<p>●芸術作品の創作、人形劇の鑑賞を通して、ゆとりある心豊かな青少年・少女を育てる。</p> <p>◇20年度より会場を文化会館に移した。また、実行委員会内に広報担当と企画担当を設け、委員に企画・運営を担ってもらった。その結果、多数の観客に恵まれ大成功であった。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	山家岩戸神楽保存会補助金	<p>●市指定無形民俗文化財「山家岩戸神楽」を伝承保存していくための保存会の活動が円滑に行われる。</p>	B
		<p>◇10月17日神楽奉納</p> <p>11月3日山家地区文化祭出演</p> <p>6月~3月山家小学校「神楽クラブ」指導</p> <p>11月21日山家小フェスタにて「神楽クラブ」発表</p>	
文化財・文化芸術活動の充実	エヒメアヤメ保存会補助金	<p>●市指定天然記念物「平等寺エヒメアヤメ」の保護育成のため子ども会育成会活動が円滑に行われる。</p>	B
		<p>◇観察手入れ市民向け栽培講習会を開催</p>	
文化財・文化芸術活動の充実	市指定文化財(長者の藤)	<p>●観光資源でもある市指定天然記念物「長者の藤」の育成保護が行える。</p>	

実	管理補助金	<p>◇4月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除）</p> <p>5月 花の房切り（枯れた花すべて）、廃棄処理、消毒（毛虫等駆除）。</p> <p>2月 藤棚竹組替え（棚竹、竹を結ぶ縄の交換）、施肥、徒長づる・枯枝と苔等の除去と手入れ、結界棚等の交換、古竹廃棄処理、消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除）</p> <p>3月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除）</p>	B
国際交流の推進	国際交流事業	<p>●国際感覚（市民一人ひとりが豊かな人権感覚を背景に、文化や価値観、さらに環境を共有し、お互いの違いを敬い理解と共生の意識を持つこと）を持った市民を増やすとともに、住みやすいと思う外国人を増やす。</p> <p>◇国際化行動計画に基づいて関係各課の進捗状況調査を実施した。状況としては財政再建計画により新規事業として、実施に至っていない課が殆どである。行動計画を実施しようとすれば予算とともに人員の配置などが必要であり、今の状況では実施は難しいと思われる。</p>	B
社会教育施設の充実	小地区公民館設置補助	<p>●小地区公民館が地域のまちづくりや生涯学習などの活動拠点施設となっている。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、区が行なう小地区公民館の新築、改築及び修繕等の費用の補助を行なう。</p> <p>平成22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築 1件 24,444,000円（美しが丘南） ・改築及び用地購入 1件 10,718,000円（山家9区） ・用地購入 1件 7,740,000円（針摺東） ・修繕 16件 14,860,000円 	A
社会教育施設の充実	アンビシャス多世代交流センター建設事業	<p>●教育施設が整備され、生涯学習、社会教育活動が実践される。</p> <p>◇建設趣旨 ①高齢者への健康増進、生きがいづくり ②子どもの居場所づくり ③多世代間交流</p> <p>施設名称 アンビシャス多世代ふれあい館 竣工 平成23年3月 建設場所 筑紫野市大字原405番地1 構造 木造平屋建て 建設概要 集会室72㎡ ホール28㎡ 調理室24.75㎡ 和室12㎡ 和室18㎡</p>	A
社会教育施設の充実	図書館運営事業	<p>●すべての市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民が本に親しむ。</p> <p>◇平成22年度図書館運営事業指数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出総冊数 788,446冊 ・利用者総数 152,241人 <p>講座等 子どもの読書推進公演会1回、読書ボランティア講座3回、子ども読書講座2回、各種講座・研修等7回、ブックスタート事業12回 移動図書館事業：39ステーション巡回</p>	B

社会教育施設の充実	図書・視聴覚資料購入事業	<p>●文化と教養が高まる。 図書資料等購入により読者の要望が満たされる。</p> <p>◇平成22年度図書・視聴覚購入事業 図書等購入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書、視聴覚資料 19,188,667円 ・新聞、雑誌等 3,232,673円 <p>書誌情報作成委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書誌、視聴覚情報作成委託料 2,153,691円 	B
生涯学習情報の共有化と充実	生涯学習情報提供事業	<p>●生涯学習施設や学習に関する情報を得ることができる。</p> <p>◇「広報ちくしの」生涯学習情報 もやい 「広報ちくしの」中に2ページ掲載、月2回年間24回発行</p> <p>◇生涯学習情報誌もやい「学習情報号」 年度末に市内の公共施設に年1回配布(24ページ、7千部)</p> <p>◇生涯学習課関連ホームページ アクセス回数94,194回</p> <p>◇生涯学習ネットワーク「つくしちゃんネット」</p> <p>◇年間240件程度の学習・イベントなどの照会、利用学習グループ150件の照会、ボランティアバンクの照会を行った。 掲示板掲示300件程度</p>	B
施策の総合推進	筑紫地区社会教育振興協議会(公民館部会)	<p>●筑紫地区における公民館事業等の現状や課題などの情報交換を行い、公民館活動が活性化している。</p> <p>◇社会教育公民館事業についての学習会研修会や4市1町での事業の情報交換会などを行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館部会、研修会、実行委員会 5回 ・筑紫地区公民館事業担当者等研修会 6月 筑紫野市 参加者：157人 ・福岡地区公民館研修会 2月 糸島市 参加者：23人 	B
施策の総合推進	小地区公民館連絡協議会補助事業	<p>●市内の各小地区公民館活動を充実させることにより、市民が学習活動、地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるようになる。</p> <p>◇活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会・役員会・常任理事会・理事会 回数(総会1回・役員会3回・常任理事会3回・理事会5回) ・筑紫地区公民館事業担当者研修会 日時：6月12日 場所：筑紫野市 参加者：157人(内筑紫野市38人) ・福岡県公民館大会 日時：8月4日 場所：田川市 参加者：25人 ・九州地区公民館研究大会 日時：11月11～12日 場所：沖縄県那覇市 参加者：14人 ・筑紫野市小公連・防犯連推進大会 日時：9月4日 参加者：205人 	A

		<ul style="list-style-type: none"> ・地区別視察研修会 山家地区 日時：1月22日 参加者50人 筑紫地区 日時：1月29日 参加者50人 山口地区 日時：4月24日 参加者60人 二日市地区 日時：2月20日 参加者70人 御笠地区 日時：2月27日 参加者40人 ・福岡地区公民館研修会 日時：2月19日 場所：糸島市 参加者：23人 ・「小地区公民館の手引き」改訂検討委員会 回数：5回 							
施策の総合推進	小地区公民館主事設置補助事業	<p>●地域における社会教育活動の振興を図るため、公民館主事を設置することで、生涯学習活動・地域活動が活性化し公民館が地域の交流の場や地域活動の拠点になる。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、小地区公民館主事の設置を促進することを目的する。</p> <p>(主事 88人) 補助対象者数 86人</p> <table border="0"> <tr> <td>補助金額</td> <td>補助対象主事数</td> </tr> <tr> <td>24,000円</td> <td>→ 36人</td> </tr> <tr> <td>36,000円</td> <td>→ 50人</td> </tr> </table>	補助金額	補助対象主事数	24,000円	→ 36人	36,000円	→ 50人	B
補助金額	補助対象主事数								
24,000円	→ 36人								
36,000円	→ 50人								
施策の総合推進	市立学校PTA協議会補助金	<p>●各学校とPTAとの連携を深めることにより、児童・生徒の健全な育成と保護者・教職員の資質向及び教育の振興を図る。</p> <p>◇支援策として補助金432千円を交付した。(27千円×16校)</p> <p>協議会の活動内容</p> <p>広報研修会、委員合同研修会、市長・教育委員会・校長・合同懇談会、スポーツ研修会、人権問題研修会</p>	A						
施策の総合推進	市婦人会補助金	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇女性の地位向上と社会参加をめざし、各機関団体と協力し、地域の福祉活動にも貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性大学（婦人会主催）42学級 ・市民大学（委託事業）8講座 ・女性問題講座 6講座 青少年支援事業 6学級 (小学生書道(A)(B)(C)・絵画・そろばん教室・楽しくクッキング) ・生活学校 7回 ・婦人会同和教育推進 講座、研修会等に31回出席 ・消費者友の会 固形せっけんづくり ・生涯学習フェスティバル 他に講座、研修会等に13回出席 	A						

		・古紙回収活動 6回 4,750kg	
施策の総合推進	各地区婦人会補助金	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇男女共同参画・環境・福祉問題の学習 地域の人と一緒に行事に取り組んでいる。 環境活動（資源ゴミ回収、廃油石鹸づくり） 地域文化祭、敬老会などの地域での活動</p>	B
施策の総合推進	生涯学習推進事業（嘱託職員）	<p>●市民の協働による地域づくり、地域の教育力向上</p> <p>◇生涯学習・社会教育事業推進のため地域活動指導員および社会教育指導員を配置</p> <p>①社会教育指導員 30名 生涯学習課 総務担当 2名 青少年担当 3名 推進担当 5名 コミセン 17名 生涯学習センター 1名</p> <p>②地域活動指導員 2名</p>	A

4. スポーツ・レクリエーションの推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
スポーツ施設の充実	中学校ナイター施設運営事業	<p>●ナイター設備のある筑紫野中学校、筑山中学校の2校のグラウンドを夜間開放することにより、スポーツの場の提供と、生涯スポーツの振興を図る。</p> <p>◇利用者数（平成22年度） 利用者数：3,284人 （内訳） ・筑紫野中：2,252人 ・筑山中：1,032人</p>	B
スポーツ施設の充実	小中学校開放体育施設運営事業	<p>●小中学校体育施設を社会体育施設として開放し、各種スポーツの場の提供と、各種スポーツ団体及びグループの交流を促し、生涯スポーツの振興を図る。</p> <p>◇・小中学校16校の開放を行った。 ・毎年1回学校開放運営委員会を開催し、定期団体の利用調整を行った。 ・定期団体以外の利用者の利用調整の実施</p>	B
スポーツ施設の充実	小学校プール市民開放事業	<p>●多くの市民がプールを利用し、市民の体力向上と水泳の振興が図られる。</p> <p>◇利用可能プール：市内全小学校 11校 利用期間：夏期休暇期間（7月21日～8月12日） 20日間 利用時間：10時～17時（12時～13時は中断） 利用者数： 子ども19,318人、大人1,523人、計20,841人</p>	A

スポーツ施設の充実	農業者トレーニングセンター運営事業	<p>●スポーツの楽しさ、健康の増進等を図るため、多くの市民が利用できるよう適切な施設の提供をするとともに、講習会及び教室、イベントを開催する。</p>	B
		<p>◇平成22年度定期利用登録団体数：22団体</p> <p>・全体利用者数73,245人</p> <p> 内個人利用者数 15,187人</p> <p>・にこにこヘルシー教室</p> <p>・サマーチャレンジクラブ</p> <p>・トレーニングルーム初回講習会</p> <p>以上の教室開催やその他学校・地域からの要請に対し職員の派遣や講座等実施</p>	
年齢や体力に応じたスポーツの振興	市体育協会補助金	<p>●体育協会を支援し、協会に加入する様々なスポーツ団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることが出来る環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。</p>	A
		<p>◇平成22年度加盟団体数：</p> <p> 21団体＋スポーツ少年団</p> <p>平成22年度加盟人数：</p> <p> 5,171人</p> <p>定期的に執行部会、理事会、評議委員会を開催</p> <p> 主催事業として、「宝満つばきマラソン大会（1,400人）」・体協研修会（89名）・少年スポーツ指導者研修会（53名）等を実施している。</p>	
年齢や体力に応じたスポーツの振興	生涯スポーツ振興事業	<p>●生涯スポーツとして各種のスポーツ教室等を開催し、自分にあったスポーツを日常生活の中に取り入れる環境づくりをするため、委託事業として実施した。</p>	B
		<p>◇平成22年度 教室としては、ソフトテニス初心者（8人）・初心者弓道（9人）・1日テニス（28人）・サッカースクール（165人）・楽しいソフトボール（94人）・体操初心者教室等が実施された。また、大会は、宝満つばきマラソン大会（1,506人）及び剣道大会（470人）の2大会が開催された。</p>	
幼児・児童・生徒のスポーツ機会の充実	学校週5日制推進事業	<p>●子どもたちの居場所づくりとして、市内小学校11校のグラウンド及び体育館を毎週土曜日の午前中開放している。</p>	B
		<p>◇体育館・運動場開放延べ日数：417日</p> <p>利用者数延べ人数 10,091人（1日当り利用者数平均：24.2人）</p>	
年齢や体力に応じたスポーツの振興	各校区体育振興育成補助金	<p>●各校区体育振興会を支援し、各校区の体育振興会で市民一人ひとりが、積極的に参加できるスポーツ・レクリエーションの年間事業を企画、実施し、年齢や体力に応じたスポーツの振興と校区内住民の親睦を図る。</p>	B
		<p>◇10校区の体育振興会に各60,000円を補助している。</p>	
年齢や体力に	市民体育祭補助	<p>●市民がスポーツ・レクリエーションをする機会をつくり、多</p>	

<p>応じたスポーツの振興</p>	<p>金</p>	<p>くの市民が参加するような市民体育祭を開催する。</p> <p>◇・平成22年10月10日（日）に一斉に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天拝小学校区（5月30日）、筑紫小学校区（6月7日）、筑紫東小学校区（10月30日） ・8校区は、ウォークラリーや運動会形式で開催（阿志岐小と吉木小は、合同で開催） ・22年度の補助金：3,489千円 ・市民体育祭参加者数：13,489人 	<p>B</p>														
<p>年齢や体力に応じたスポーツの振興</p>	<p>天拝山ロードレース大会実行委員会補助金</p>	<p>●ロードレースを開催することにより、生涯スポーツを推進し、健康の増進及び体力の向上につなげる。</p> <p>◇平成22年11月23日に実施</p> <p>選手参加者</p> <table border="0"> <tr> <td>10.0km</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>5.0km</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>2.5km</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>万葉の筑紫路</td> <td>254人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>822人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ等</td> <td>233人</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>1,055人</td> </tr> </table>	10.0km	159人	5.0km	250人	2.5km	159人	万葉の筑紫路	254人	計	822人	スタッフ等	233人	総計	1,055人	<p>A</p>
10.0km	159人																
5.0km	250人																
2.5km	159人																
万葉の筑紫路	254人																
計	822人																
スタッフ等	233人																
総計	1,055人																
<p>年齢や体力に応じたスポーツの振興</p>	<p>代替市民プール利用費補助金</p>	<p>●民間の協力により、代替市民プールとして民間施設のプールを市民の利用に供し、利用料の一部を補助している。市民がプールを利用することにより、体力の向上と水泳の振興が図られる。</p> <p>◇利用者合計427人</p> <p>（通年）</p> <p>大人：66人 子ども：31人</p> <p>（夏季）</p> <p>大人：13人 子ども：317人</p>	<p>B</p>														
<p>年齢や体力に応じたスポーツの振興</p>	<p>各種事業・教室開催事業</p>	<p>●市民のだれもが、いつでも、どこでも、自発的・主体的にスポーツに親しむことができる環境づくりとして開催している。</p> <p>◇大会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳大会：311人参加 ・市民駅伝大会：551人参加申込みあり（平成22年度は天候不良のため中止） ・スポレク・フェスタ：124人参加 <p>（教室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツセミナー：116人参加 ・福祉レクリエーション講習会190人参加 ・サマーチャレンジクラブ213人参加 ・にこにこヘルシー教室346人参加 	<p>B</p>														

指導者・ボランティアの育成	体育指導委員運営事業	<p>●体育指導委員の能力を向上させ、地域住民に対してスポーツに関する指導・助言やスポーツに関する事業の支援を行うことにより、スポーツの振興を図る。</p>	B
		<p>◇各校区体育振興会等から推薦された24人と学識経験者2人の計26人を体育指導委員として委嘱する。</p> <p>委員長・部長会及び体育指導委員会を毎月それぞれ1回開催し、各地区の連絡調整や体育指導委員の研修、市や団体の行事運営等への協力を行った。また、地域活動への実技指導等も実施した。</p>	
施策の総合推進	全国大会出場補助金	<p>●全国大会に出場する個人、団体に対して、筑紫野市における社会体育に寄与し、今後の貢献に期待できるものとして支援する。個人に20,000円、団体に200,000円補助する。</p>	B
		<p>◇全国大会等出場者への支援</p> <p>22年度の補助金交付者 個人31人 団体なし</p>	

認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成

5. 人権意識の向上

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
市民・企業への人権意識の啓発	人権問題啓発実行委員会運営事業	<p>●すべての市民に人権意識の大切さを理解してもらおう。</p>	B
		<p>◇82行政区58会場にて市民懇談会が開催された。機関団体研修については、19団体実施、1団体が未実施。</p>	
市民・企業への人権意識の啓発	人権・同和問題啓発冊子の編集・発行事業	<p>●人権問題に対する正しい認識と人権感覚豊かな市民の育成によって、人権が侵害されない市民生活ができるようになっていく。</p>	B
		<p>◇・解放への一歩第38集 10月15日発刊</p> <p>・広報「人権問題特集号」12月1日発刊</p> <p>市内全世帯配布</p> <p>●発刊部数 各39,000部</p> <p>・人権作文集「くさび」3月1日発刊</p> <p>児童・生徒を介してPTA及び公共施設を通して配布</p> <p>●発行部数 11,000部</p>	
市民・企業への人権意識の啓発	行政区人権問題推進委員会育成助成金	<p>●市民の共同生活の場である行政区ごとに組織的な人権問題啓発活動の推進と学習活動を展開することによって、人権問題の早期解決を目指し、市民一人ひとりが人権意識の高揚に努め、人権を守り、差別をしない、させない、豊かな地域社会を実現する。</p>	B
		<p>◇82行政区すべてにおいて行政区人権問題啓発推進委員会が組織され、58箇所市民懇談会が行われた。小学校区ごとの推進員研修会は、10校区。</p>	
同和問題の解決	学習指導支援事業	<p>●同和地区の児童生徒をはじめ、学習支援を要する児童生徒の学力が向上させる。</p>	B
		<p>◇学校教育指導主事の研修教材購入</p>	

同和問題の解決	同和問題啓発強調月間事業	<p>●同和問題の解決を、市民が自らの課題として捉え、差別を許さない意識の徹底を図るため各種の啓発事業を集中的に実施し、差別を許さない社会づくりの構築に向けて取り組みを展開する。</p>	B						
		<p>◇7月同和問題講演会（参加者 680名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天拝中学校ブラスバンド演奏 ・講演「いのちのバトンタッチ」 講師 青木新門さん <p>●街頭駅頭啓発</p> <p>●各課職員研修会</p> <p>その他の事業を事業計画に基づき実施。</p>							
同和問題の解決	筑紫野市同和教育研究会運営費補助金	<p>●筑紫野市同和教育研究会の運営を助成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別からの解放を目指す人権・同和教育を実践している。</p>	A						
		<p>◇年間事業計画に基づき、研究大会、学習会、講演会等を開催</p>							
施策の総合推進	同和教育推進5中学校区事業補助金	<p>●5中学校区の児童・生徒の人権尊重意識が高まり、一人ひとりを大切に人権・同和教育が推進されている。</p>	B						
		<p>◇・5中学校区に推進委員会設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック研修会ならびに公開授業研を実施 							
施策の総合推進	指導者養成講座	<p>●女性問題講座の学習活動を通して「部落差別をはじめとする様々な差別の存在に気づき、地域での実践活動を通して人権思想を暮らしの中に生かし、一人ひとりの豊かな生活や幸せな未来を築くため」地域社会において核となり得る指導者を育成する。</p>	B						
		<p>◇6月から2月まで、「子どもの問題」「人権問題」「部落問題」「平和問題」をテーマとして講座を開催した。</p>							
施策の総合推進	筑紫地区社会教育振興協議会運営事業	<p>●筑紫地区における社会人権・同和教育の現状や課題、取り組み等の情報交換を行うとともに、同和問題をはじめとする人権問題の学習、研修機会の提供を図り、社会人権・同和教育の振興と発展を期することを目的とする。</p>	B						
		<p>◇・担当者研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発情報交換会 ・県社会人権同和教育担当者協議会研修会 ・筑紫地区社会教育関係職員同和問題研修会等の企画運営を実施した。 							
同和問題の解決	識字学級	<p>●同和地区の住民が文字を学び、自己実現のための様々な学習により差別に負けない力量が培われている。</p>	B						
		<p>◇学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文字学習を中心とした学習 ②人権問題を基本に生活文化向上の学習 ③人権尊重のまちづくりを推進するための学習 <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>担当者</td> <td>学級生</td> </tr> <tr> <td>京町識字学級</td> <td>63人</td> <td>158人</td> </tr> <tr> <td>美咲大学</td> <td>68人</td> <td>95人</td> </tr> </table>			担当者	学級生	京町識字学級	63人	158人
	担当者	学級生							
京町識字学級	63人	158人							
美咲大学	68人	95人							

		岡田解放学級 29人 16人 永岡識字学級 35人 67人 合計 192人 336人																					
同和問題の解決	解放子ども会	<p>●日常的な子ども会活動や社会体験等を通して、自らの社会的立場を自覚し、差別に負けない、許さない強い意志と実践力をもった子どもの育成を目的とする。</p> <p>◇活動内容 学習支援活動をはじめ、社会体験を豊かにし、人を大切にする支援活動を行った。</p> <table> <tr> <td>京町</td> <td>指導者数</td> <td>28人</td> <td>子どもの数</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>美咲</td> <td>〃</td> <td>31人</td> <td>〃</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>岡田</td> <td>〃</td> <td>17人</td> <td>〃</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>永岡</td> <td>〃</td> <td>20人</td> <td>〃</td> <td>7人</td> </tr> </table> <p>※指導者については、人権政策課子ども会指導員、教務課派遣職員、小・中学校教職員</p>	京町	指導者数	28人	子どもの数	18人	美咲	〃	31人	〃	28人	岡田	〃	17人	〃	6人	永岡	〃	20人	〃	7人	B
京町	指導者数	28人	子どもの数	18人																			
美咲	〃	31人	〃	28人																			
岡田	〃	17人	〃	6人																			
永岡	〃	20人	〃	7人																			
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金 (女性部)	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。</p> <p>女性部 250人</p> <table> <tr> <td>①研修会 (女性集会・識字担当者研修会)</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>②全体学習会</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>③健康学習会 (栄養教室)</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>④福祉学習会 (福祉対策会議)</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>⑤定例学習会</td> <td>264人</td> </tr> <tr> <td>⑥役員会</td> <td>214人</td> </tr> <tr> <td>⑦識字学級活動</td> <td>3,021人</td> </tr> <tr> <td>⑨その他の活動 (生活対策会議)</td> <td>344人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,126人</td> </tr> </table>	①研修会 (女性集会・識字担当者研修会)	147人	②全体学習会	40人	③健康学習会 (栄養教室)	29人	④福祉学習会 (福祉対策会議)	67人	⑤定例学習会	264人	⑥役員会	214人	⑦識字学級活動	3,021人	⑨その他の活動 (生活対策会議)	344人	合計	4,126人	B		
①研修会 (女性集会・識字担当者研修会)	147人																						
②全体学習会	40人																						
③健康学習会 (栄養教室)	29人																						
④福祉学習会 (福祉対策会議)	67人																						
⑤定例学習会	264人																						
⑥役員会	214人																						
⑦識字学級活動	3,021人																						
⑨その他の活動 (生活対策会議)	344人																						
合計	4,126人																						
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金 (子ども会)	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。</p> <p>子ども会 59人 延べ人数</p> <table> <tr> <td>①日常的活動 (センターでの学習)</td> <td>8,112人</td> </tr> <tr> <td>②3支部子ども会 (センターでの学習)</td> <td>5,520人</td> </tr> <tr> <td>③体験活動 (菜園活動、紙すき)</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>④交流会 (高齢者との交流)</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>⑤野外活動 (スキー教室・キャンプ)</td> <td>243人</td> </tr> <tr> <td>⑥各種活動 (科学実験教室・太鼓教室)</td> <td>1,415人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,408人</td> </tr> </table>	①日常的活動 (センターでの学習)	8,112人	②3支部子ども会 (センターでの学習)	5,520人	③体験活動 (菜園活動、紙すき)	26人	④交流会 (高齢者との交流)	92人	⑤野外活動 (スキー教室・キャンプ)	243人	⑥各種活動 (科学実験教室・太鼓教室)	1,415人	合計	15,408人	B						
①日常的活動 (センターでの学習)	8,112人																						
②3支部子ども会 (センターでの学習)	5,520人																						
③体験活動 (菜園活動、紙すき)	26人																						
④交流会 (高齢者との交流)	92人																						
⑤野外活動 (スキー教室・キャンプ)	243人																						
⑥各種活動 (科学実験教室・太鼓教室)	1,415人																						
合計	15,408人																						

同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（老人部）	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	B
		◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 老人部 224人 延べ人数 ①定例学習会 893人 ②老人識字 423人 ③研修会（館外で学習） 299人 ④交流会（保育所・子ども会との交流） 243人 ⑤各種教室（長生きがい教室） 490人 ⑥地域活動（子どもまつり奉仕活動） 15人 合 計 2,771人	
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（成年）	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	B
		◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 成人男子 203人 延べ人数 ①全体学習会 474人 ②定例学習会 1,655人 ③各種学習会（健康学習会） 74人 ④研修会（人権・同和問題講演会） 209人 ⑤交流会（保育所・子ども会との交流） 192人 ⑥地域活動（子どもまつり奉仕活動） 2,232人 ⑥その他の活動（ほうげんぎょう） 105人 合 計 4,941人	
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（青年部）	●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的	B
		◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 青年部 202人 延べ人数 ①学習会（青年部活動者会議） 16人 ②研修会（全国青年集会） 14人 ③役員会 65人 ④交流会（青年部スポーツ交流会） 66人 合 計 161人	
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（子ども会育成会）	●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的	B
		◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。	

		子ども会育成会 55人 延べ人数 ①定例学習会 581人 ②各種学習会 (3支部育成会) 352人 ③研修会 (人権・同和教育夏期講座) 74人 ④交流会 (子ども会・育成会共に歩く会) 47人 ⑤体験活動 (親子体験活動：紙すき) 44人 ⑥地域活動 (遊ゆうまつり奉仕活動) 24人 ⑦その他の活動 (資源回収・親子料理教室) 91人 合 計 1,166人	
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金 (各種学級)	●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的 ◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した 各種学級生 685人 ①英会話教室 91人 ②音楽教室 877人 ③健康料理教室 1,403人 ④民舞教室 265人 ⑤健康体操教室 433人 ⑥カラオケ教室 329人 ⑦アートフラワー 246人 ⑧手芸教室 277人 ⑨生け花教室 60人 ⑩盆栽教室 155人 合 計 4,136人	B